

N E C

Express5800 シリーズ

ESMPRO[®]/AC Advance マルチサーバオプション

Ver5.3

1 ライセンス / 4 ライセンス

UL1046-616

UL1046-626

UL1046-H616

UL1046-H626

UL1046-J616

UL1046-J626

セットアップカード (05 版)

ごあいさつ

このたびは ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション Ver5.3をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中心に構成されています。ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション Ver5.3をご使用になる前に、必ずお読みください。

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

ESMPROは、日本電気株式会社の登録商標です。

その他の会社および製品の名称は、総てそれぞれの所有する登録商標または商標です。

目次

第1章	製品内容	4
第2章	セットアップの準備	5
2.1	ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのセットアップ環境	5
2.2	ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションの構成例	7
第3章	セットアップの方法	8
3.1	ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのインストール	8
3.2	ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのアンインストール	13
第4章	注意事項	17
4.1	セットアップ関連	17
4.2	共有フォルダ関連	17
4.3	ウィルススキャンソフト関連	17

第1章 製品内容

ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション Ver5.3のパッケージの内容は、製品に同梱されている「構成品表」に記載されています。

添付品が全部そろっているかどうか、確認してください。

第2章 セットアップの準備

ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションをご使用になるためには、マルチサーバ構成内に管理サーバとして ESMPRO/AC Advance Ver5.3 以降がセットアップされているサーバが必要です。ESMPRO/AC Advance のセットアップ方法は ESMPRO/AC Advance のセットアップカードを参照してください。

2.1 ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのセットアップ環境

ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションをセットアップするためには、次の環境が必要です。

① ハードウェア

- ・対象機種 : Express5800シリーズ
- ・メモリ : 7.5 MB以上
- ・固定ディスクの空き容量 : 40.0 MB以上
- ・HW/BIOS機能 (*) : WOL(Wake On LAN)機能を実装しているサーバ
OSのシャットダウンで、電源OFFが可能なサーバ

(*)

機種によっては、Wake On LAN機能が提供されていない場合があります。機能が提供されていない機種は、BIOSにWake On LANの設定メニューがないため、Wake On LAN機能を有効にすることができません。そのため、リモート起動を含め自動運転の起動機能は実現できません。

これらの機種は、リモート起動を含め自動運転の起動機能は実現できません。また、スタートメニューなどからのシャットダウンの起動にてサーバの電源がOFFされないサーバでは、自動運転の停止機能の場合にも同様に電源がOFFできません。この場合には、その後の自動起動も出来ません。

これらの機能制限は、サーバ本体のHW仕様等に依存するため、導入の際には、予め使用するサーバ本体HWおよびOSを確認してください。

(同一装置であってもBIOSのバージョンに依存する場合があります。)

② ソフトウェア

Windows Server 2019 Standard/Datacenter
Windows Server 2016 Standard/Datacenter
Windows Server 2012 R2 Standard/Datacenter
Windows Server 2012 Standard/Datacenter
Windows 10 Pro
Windows 8.1 Pro

最新の対応OS状況は、以下をご参照ください。

http://jpn.nec.com/esmpro_ac/

→ 動作環境

→ 対応OS一覧

- ※ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションをx64のOSで動作させる場合、WOW64がサポートされている必要があります。
- ※ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションをインストールしたサーバは「WebSAM SigmaSystemCenterの管理対象サーバ」として登録することはできません。

ESMPRO/ACにて仮想マシンの順序シャットダウン/順序起動を行う場合は、下記資料をご参照ください。

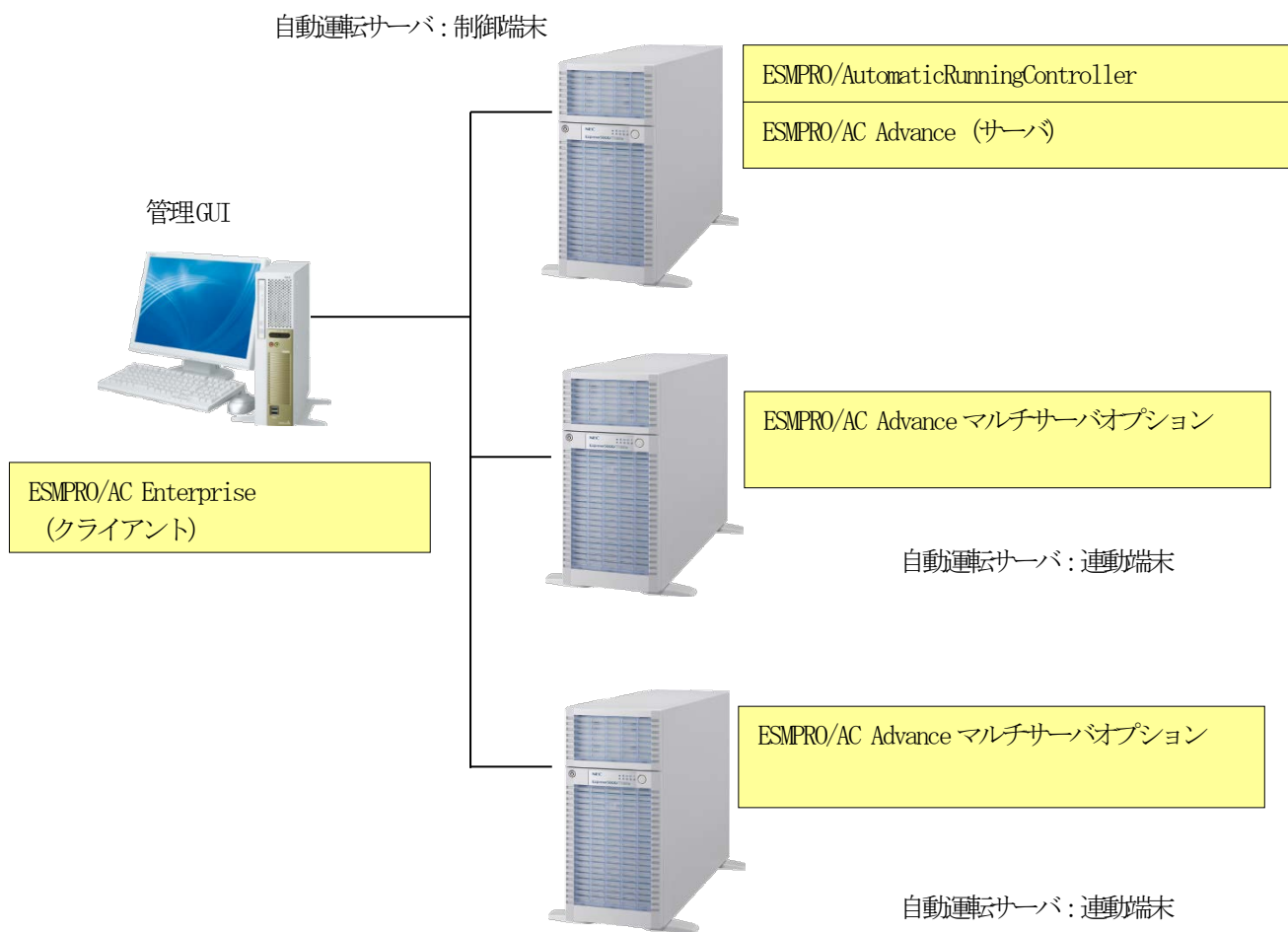
http://jpn.nec.com/esmpo_ac/

→ ダウンロード

→ 各種資料

→ 仮想マシン順序設定マニュアル

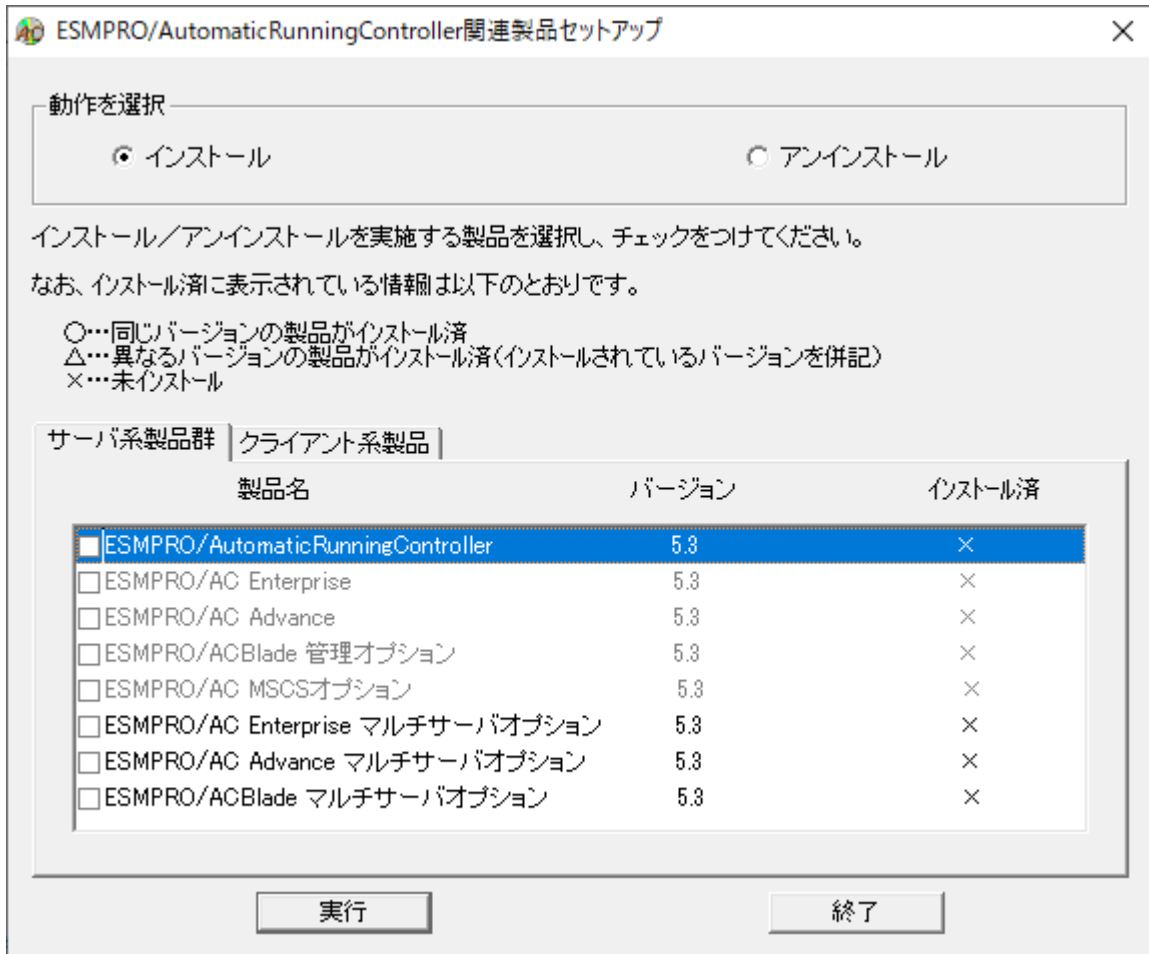
2.2 ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションの構成例



第3章 セットアップの方法

3.1 ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのインストール

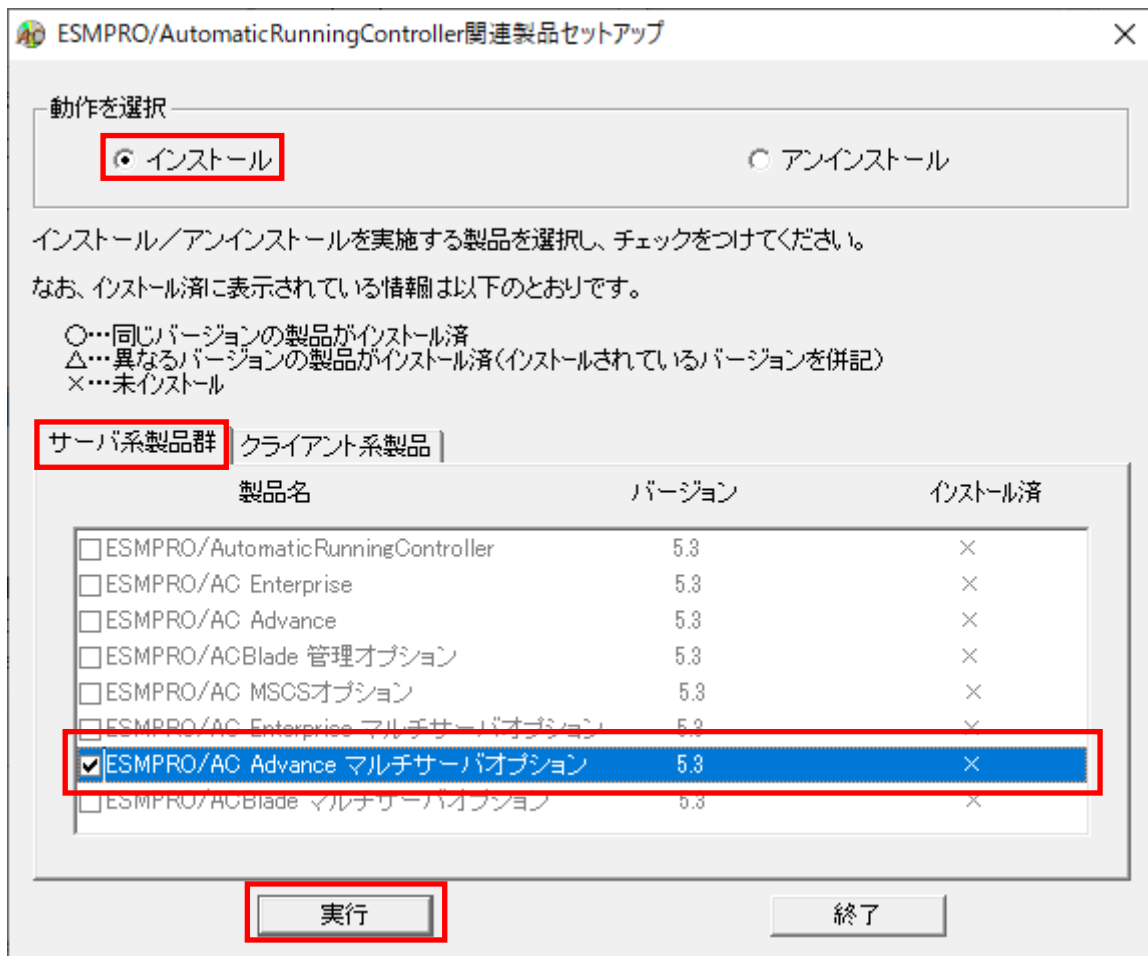
- (1) AdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベルに『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.3』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。



異なるバージョンの製品がインストールされている場合、インストール済の欄に△(バージョン)が表示されています。

下位バージョン(Ver5.0以上)からのバージョンアップインストールを実施される場合は、通常のインストールと同様に行ってください。その際、設定内容はそのまま引き継がれます。

- (3) 「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中からESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションを選択し、チェックを有効にします。

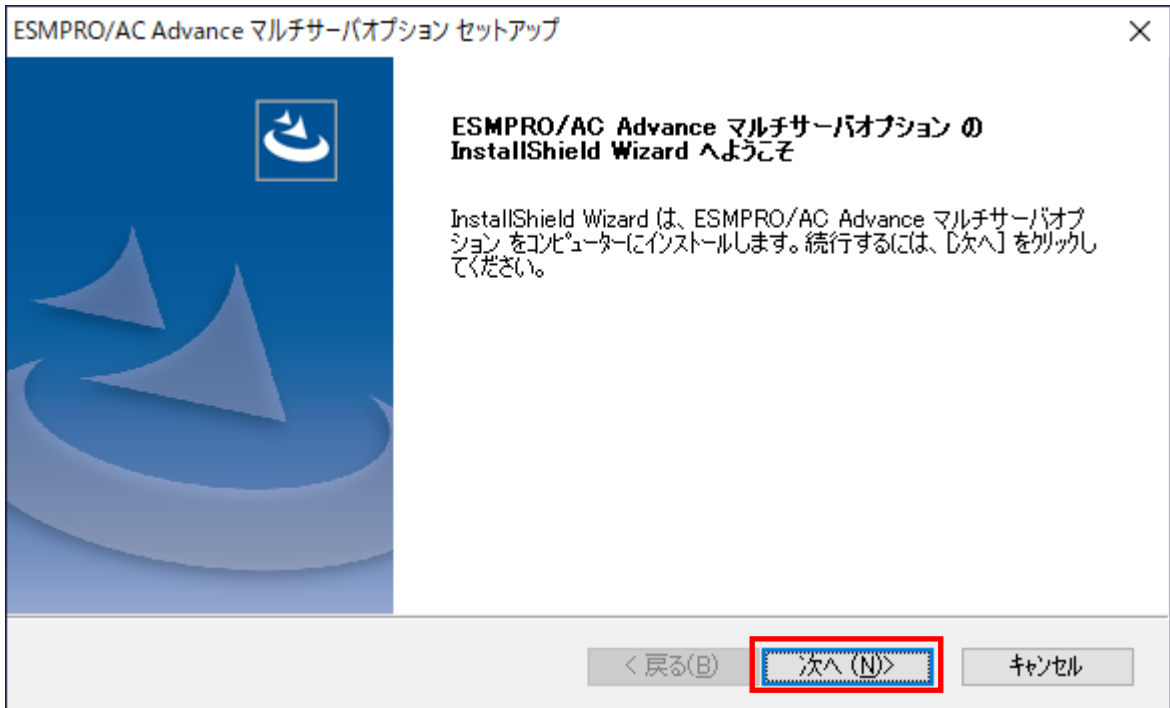


- (4) 「実行」ボタンを選択します。

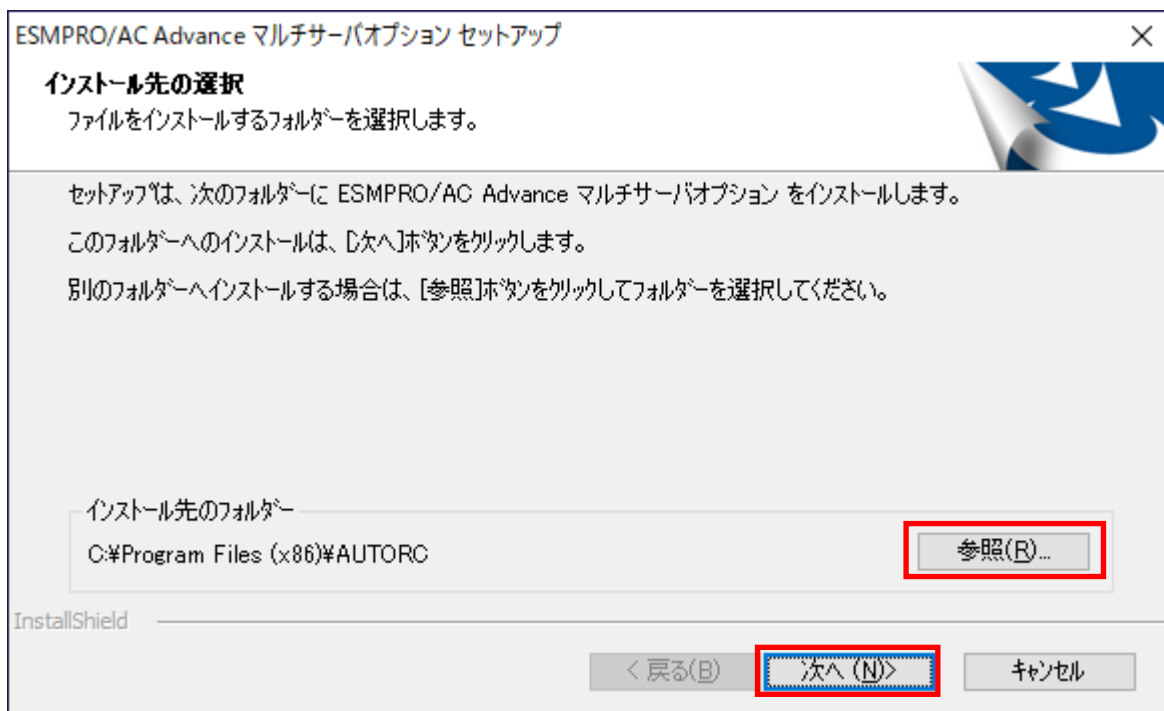
- (5) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。



- (6) ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのセットアップが開始されますので、「次へ」ボタンを選択します。

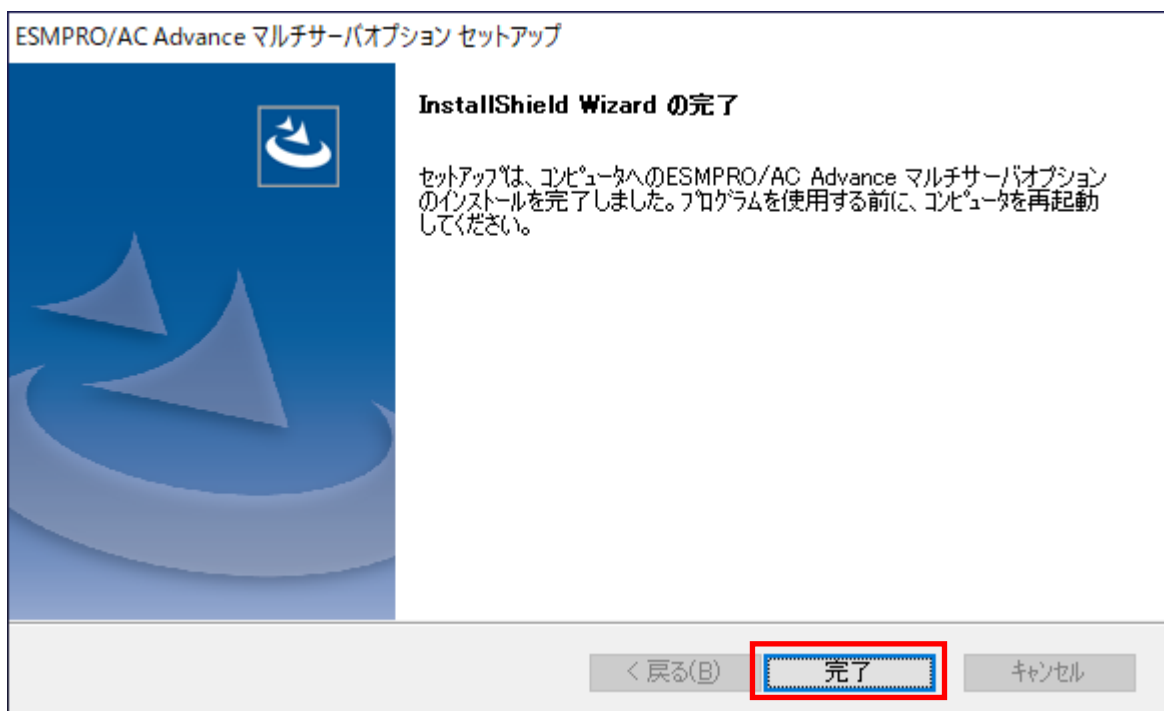


- (7) 続いて、インストール先を選択します。表示されているフォルダとは別のフォルダにインストールする場合は、「参照」ボタンをクリックしてインストール先のフォルダを選択します。インストール先が決定したら、「次へ」ボタンを選択します。

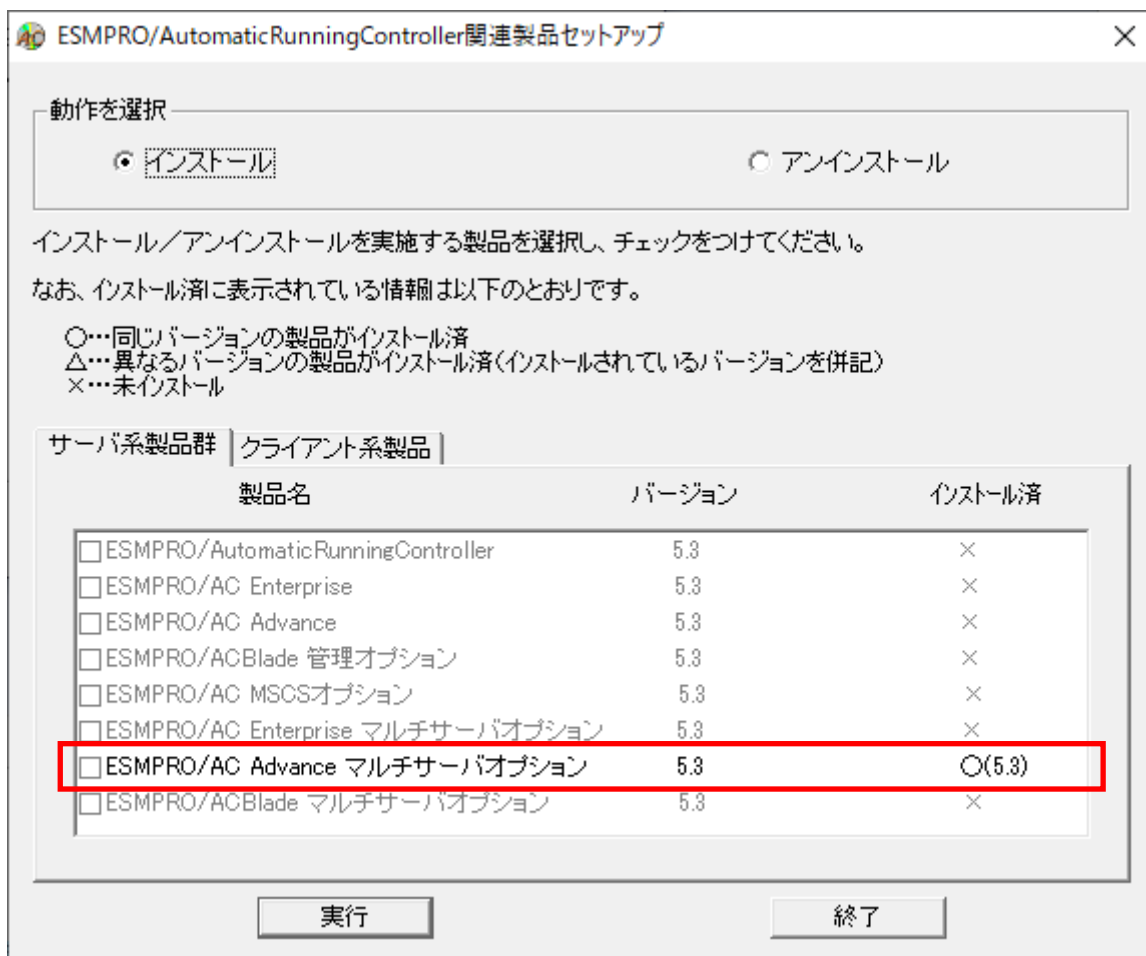


- (8) ファイルの転送が開始されます。

- (9) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



- (10) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのインストール済欄に○およびバージョンが表示されていることを確認します。



- (11) インストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。

- (12) 再起動完了後、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのライセンスキーを登録してください。ライセンスキーの登録は、ESMPRO/AC Advanceをセットアップした制御端末上の[スタート] → [すべてのプログラム] → [ESMPRO/AutomaticRunningController] → [ESMPRO_AC ライセンス]から行ってください。

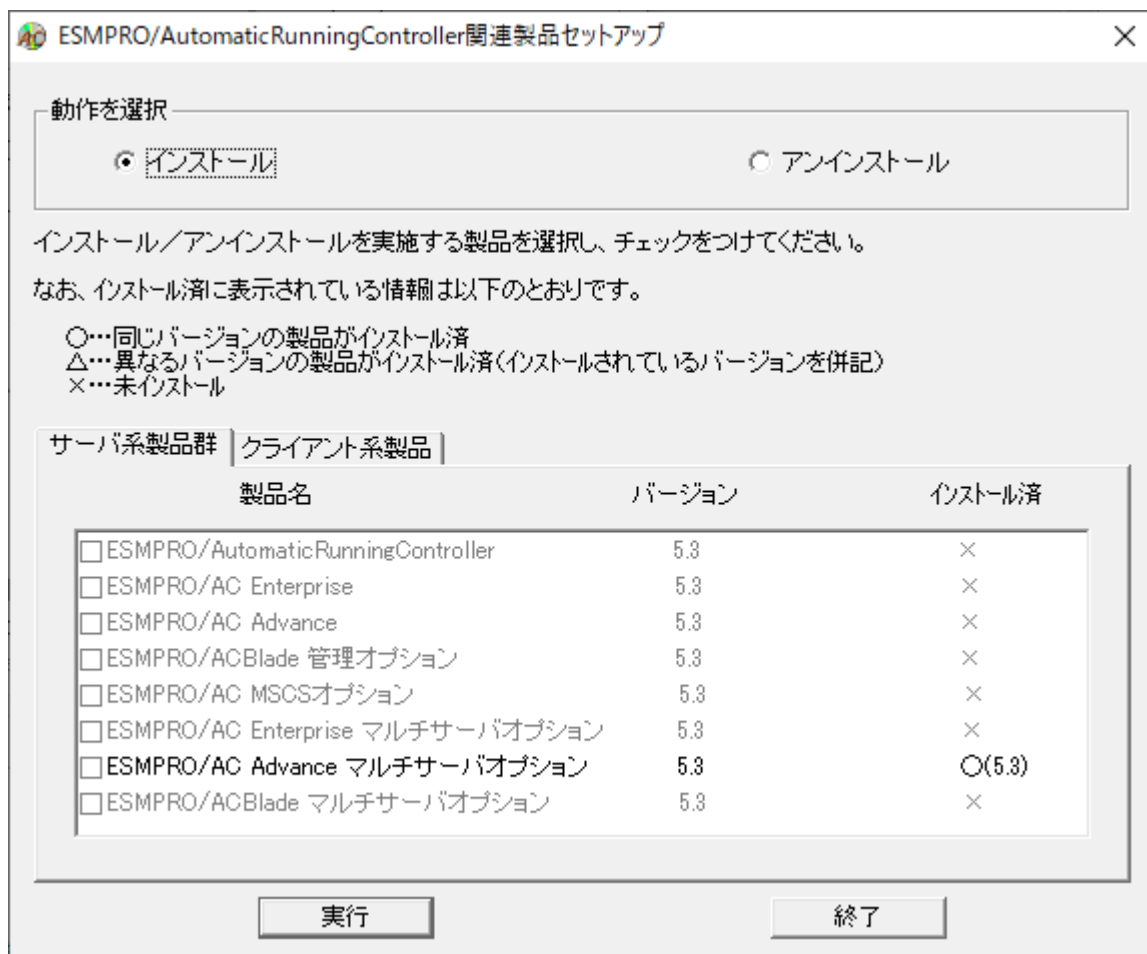
ライセンスキーの登録方法については、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップカードを参照してください。

注意

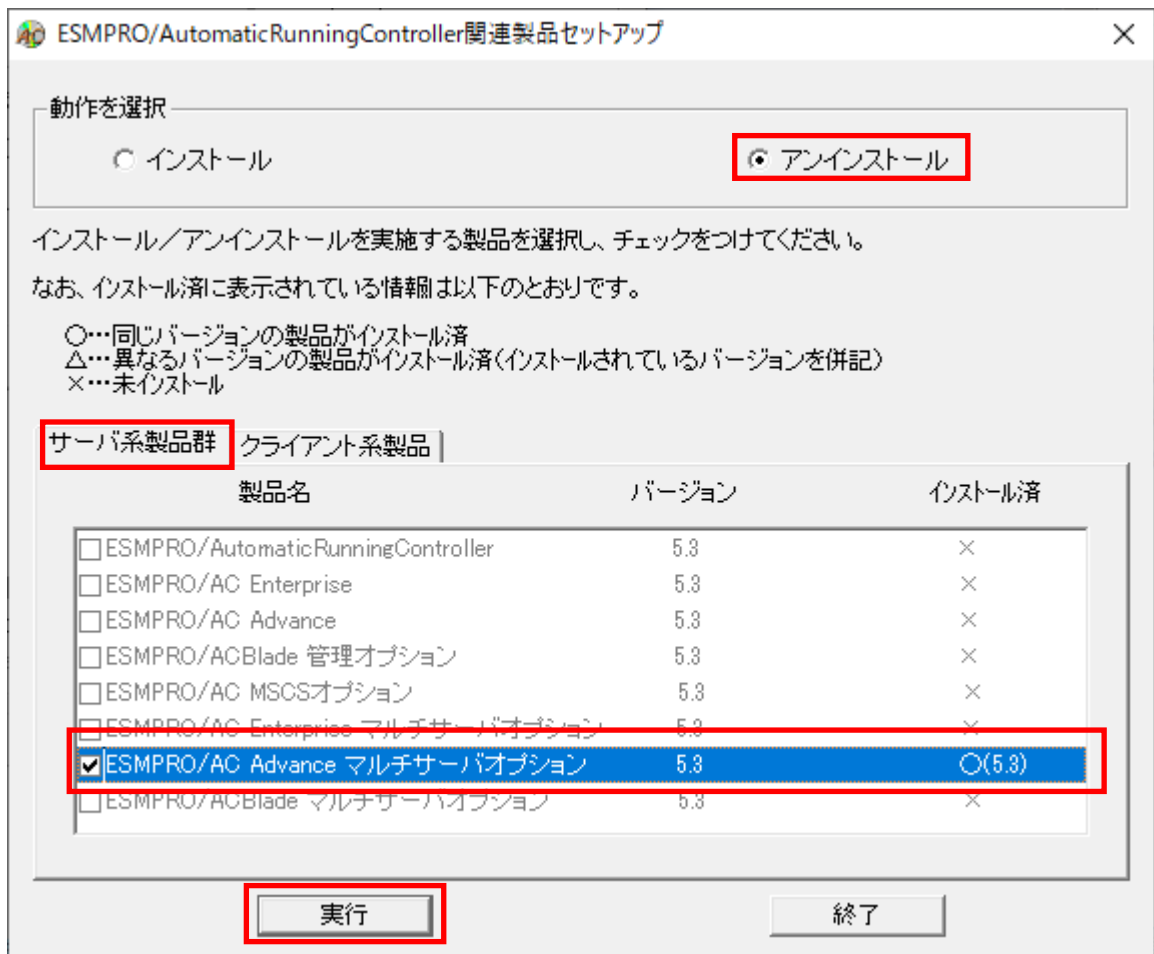
- バージョンアップセットアップの場合は、上記(6)～(7)の手順が省かれ、インストールが実行されます。インストール先を変更することはできません。また、バージョンアップセットアップでは、これまでの運用で設定した情報を保持したまま、モジュールのコピーを行います。
- セットアップの実行中に<終了>及び<キャンセル>ボタンを押すと、セットアップ中止の確認のメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで<終了>ボタンを押すと、セットアップは中止されます。その場合、途中まで転送されたファイルの削除は行われませんのでご注意ください。

3.2 ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのアンインストール

- (1) インストールを行ったAdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベルに『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.3』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。



- (3) 「動作を選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中からESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションを選択し、チェックを有効にします。

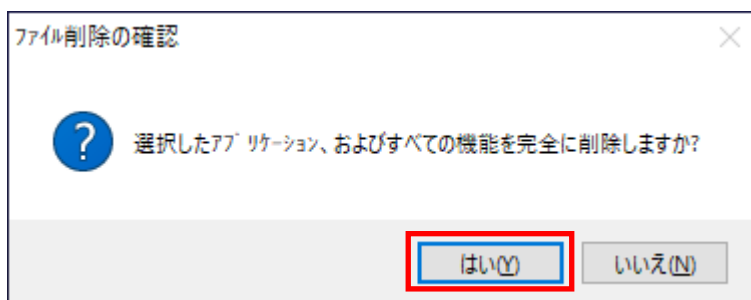


- (4) 「実行」ボタンを選択します。

- (5) 選択した製品のアンインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

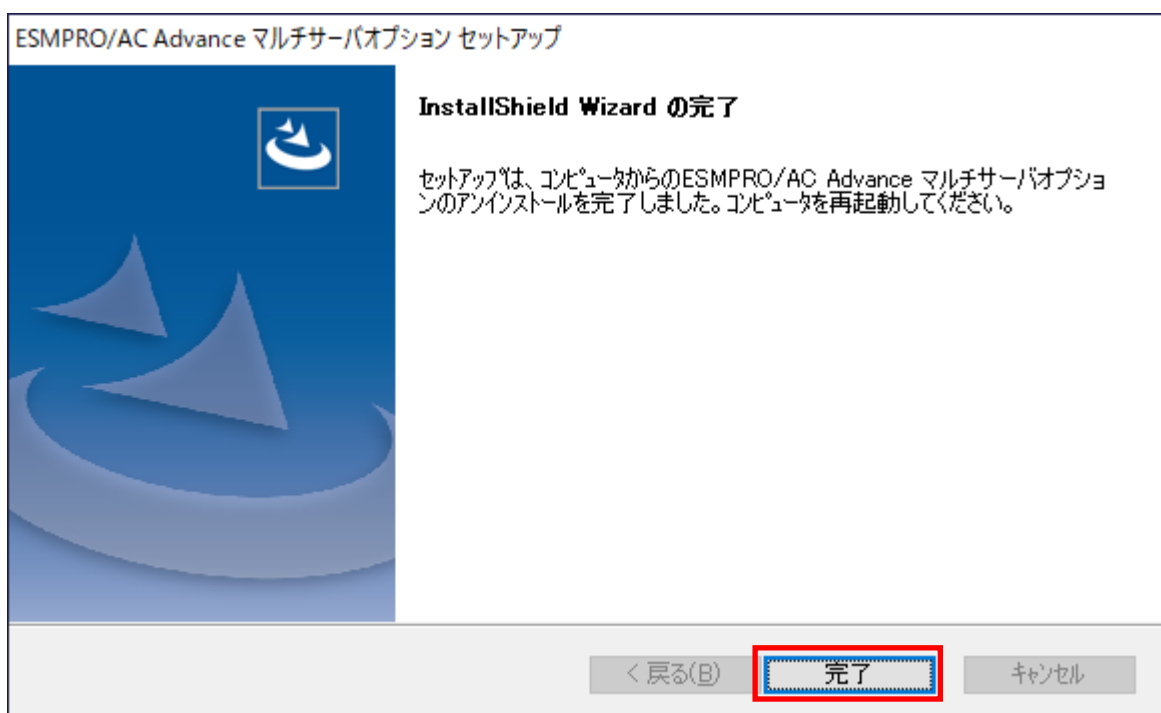


(6) インストーラが起動され、もう一度確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

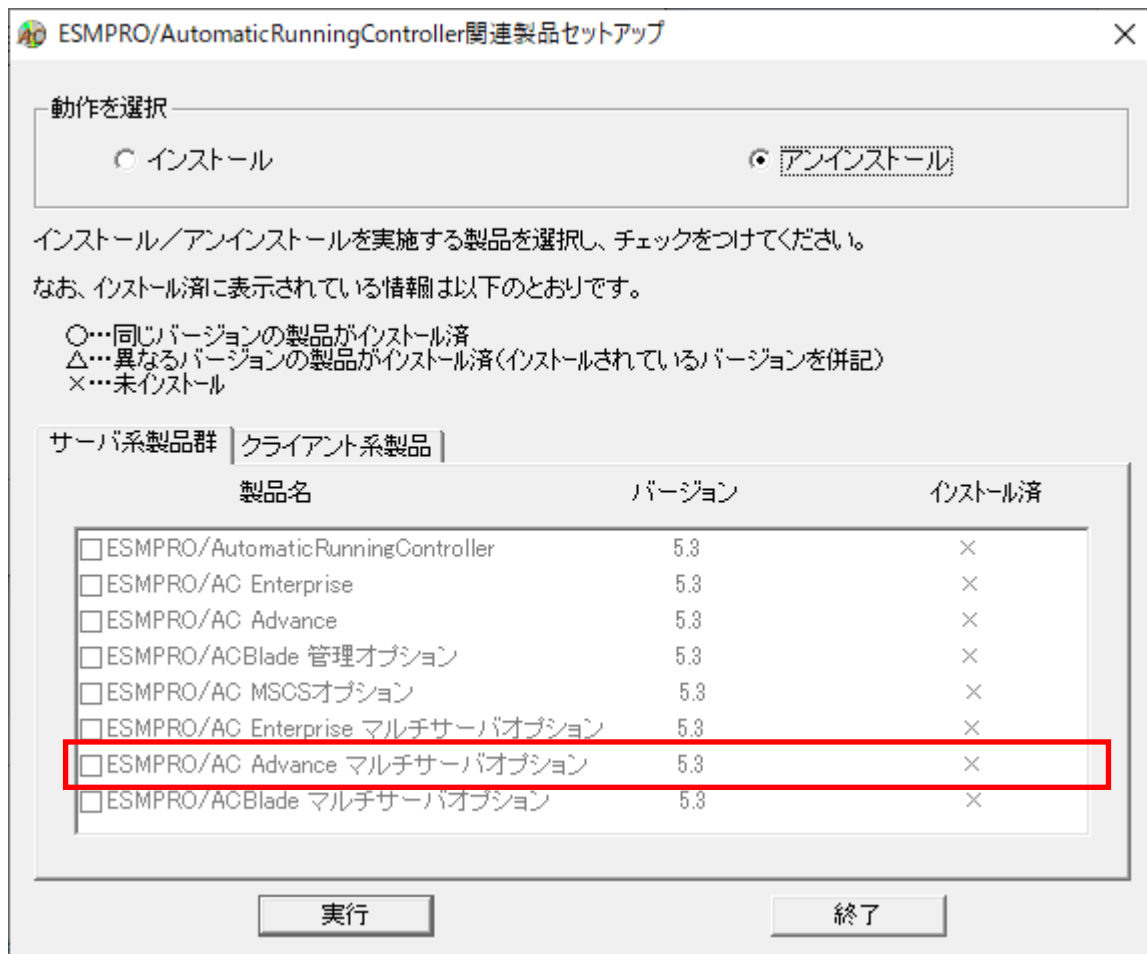


(7) ファイルの削除が行われます。

(8) 次の画面が表示されたら、アンインストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



- (9) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのインストール済欄に×が表示されていることを確認します。



- (10) アンインストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。

第4章 注意事項

ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのご使用にあたり、次の事項にご注意ください。

4.1 セットアップ関連

- (1) ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション Ver5.3 は、ESMPRO/AC Advance Ver5.3 のオプション製品です。従って、ESMPRO/AC Advance Ver5.3 をインストールし、AC Management Console (AMC) 機能にて、本サーバを制御対象として登録してある制御サーバが、LAN 上に必要です。設定方法の詳細については「ESMPRO/AC Advance Ver5.3 セットアップカード」を参照してください。
- (2) 本バージョンの ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションは、JIS2004 で新規追加された文字に対応していません。そのため、インストール時のインストールパスや、GUI 操作において、JIS2004 の新規追加文字が含まれるパス情報は指定、入力しないでください。

4.2 共有フォルダ関連

ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションでは、ネットワーク機能を提供するために、以下の共有フォルダを設定しています。

フォルダ名	共有名	デフォルトのアクセス権
(インストールフォルダ)¥DATA	ARCDATA	Administrators フルコントロール

「ARCDATA」の共有フォルダは、ESMPRO/AutomaticRunningController + ESMPRO/AC Advance がインストールされたサーバ上の GUI からリモート接続する場合に使用します。

4.3 ウィルススキャンソフト関連

ウィルススキャンソフトがインストールされた環境で運用される場合は、以下のファイルをスキャン対象外として設定してください。

ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのインストールディレクトリの DATA 配下にある SCHEBASE.APC

例) インストール先が C:¥Program Files (x86)¥AUTORC の場合
C:¥Program Files (x86)¥AUTORC¥DATA¥SCHEBASE.APC
をスキャン対象外として設定